

沖養部新聞

第1号 2013年9月 沖教組養護教員部

夏季研修会 120人参加!

(国頭20 中頭40 那覇27 島尻32 宮古0 八重山1)



平成25年度の夏季研修会が、8月16日(金)浦添市商工会議所「結の街」にて開催されました。今回は、テーマを「つな

がる・深める養護教諭の輪」とし養護の原点にかえり職務を見つめ直す事を目指して開催されました。

午前の部は、嘉陽部長のあいさつに始まり、引き続き、全体講演を行いました。

講師に玄米クリニックの森田悦雄医師をお招きし、『「学校における食の指導」のために知っておいていただきたいこと』の演題でお話をいただきました。身近な事例を踏まえた内容で『食の重要性を改めて感じることができた。』『養護教諭として、何回聞いても勉強になる。』『低血糖症やフェリチンなど初めて知る事も多かった。』等の感想が寄せられました。

午後の部は県外研修報告とグループディスカッションを行いました。嘉陽部長より、九ブ口部長会の報告の後、日養研の報告を行いました。



日養研の全体的様子をスライドショーで紹介し、参加代表3名が各分科会の報告をしました。

今回は、交流を深めた大阪府茨木市養護教員部作成のDVDを観て、府県の枠を超えた養護教諭共通の悩みや事情を共感することもできました。

感想の中には『日養研についてよく知ることができた。』『他県との交流ができる環境

テキですね。楽しく参加できそう。』『養護教諭の向上のためにもぜひ一度参加してみたい。』などの感想がありました。

ひきつづき、午後の部はグループディスカッションを行いました。日頃学校に一人という存在でなかなか執務についての疑問や迷いを吐き出せる場が少ない私たちにとって、充実した時間になったのではないのでしょうか。

『いろいろな先生方の意見やアドバイスが聞けて頑張れると思いました。』『とまどいが共有できて良かった。市町村・地区によって取り組みの違いを知ることができた。』『中頭地区で同様の研修会だったので、少し変えてほしかった。』などの感想を頂きました。皆様から頂いた意見・感想を今後の研修会運営に生かして行きたいと思えます。



当日は、全地区の理事をはじめ、駐車場係・会場設営・受付・接待・司会記録と、係を引き受けて下さった会

員の皆様、ご協力ありがとうございました。また、日養研に参加された先生方による報告やグループディスカッションで進行係を引き受けて下さった皆様、ありがとうございました。皆様の協力で、研修会を成功裏に終える事ができました。

今後とも、実り多い研修会となるよう、よろしくお願ひします。

組合加入のお願い



私たちは、養護教諭であり一労働者でもあります。教育公務員も、労働条件に疑問が生じたときは、声を出すことが出来ます。その場が認められているのが、「教職員組合」です。

2013年度までに、各学校で過半数の組合組織率が確保できないと、労働条件を決める「労働協約締結権」が大きく制限されます。多くの部員の力が必要となります。現在、新規加入者が、退職者人数に追いつかない厳しい現状があります。

日養研では、各都道府県の学校保健の問題(エピペン、予防接種、フッ素など)を、組合の組織で、行政に働きかけ、改善された報告もありました。

学校保健も、組織で動くことで改革が起こせるのです。宮古地区は、80%に近い加入率です。

ぜひ、未加入の先生方には、加入にむけて前向きに考えてもらい、ファックスで、申込用紙を「スーツ」と送って下さることを切望いたします。